

第2回看護研究会

(看護補助者教育研修会)

平成30年 8月 8日 (火)
岡山ロイヤルホテル 2階 光楽の間

〔午前〕講演

演 題 『 認知症を持つ人に寄り添うコツ 』

講 師 津山中央病院 専門副看護部長
認知症看護認定看護師 小幡 陽子 氏

〔午後〕研修

演 題 『 介護者にも対象者にも負担のかからないノーリフティングケア
～抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケア～ 』

講 師 ナチュラルハートフルケアネットワーク
代表理事 下元 佳子 氏

(一 社) 岡 山 県 病 院 協 会

(注：類似した感想はまとめています。)

第2回看護研究会（看護補助者教育研修会）のアンケート集計（平成30年8月8日）

（ 85病院 202名 出席 ・ 198名 回答 ）

1. 講演『認知症を持つ人に寄り添うコツ』を聞いて。

（講師：津山中央病院 専門副看護部長・認知症看護認定看護師 小幡 陽子 氏）

A.

a. 大変勉強になった (144名)	a. 大変分かりやすかった (128名) b. 分かりやすかった (13名) c. 少し難しかった (3名)
b. 勉強になった (54名)	a. 大変分かりやすかった (12名) b. 分かりやすかった (33名) c. 少し難しかった (2名) e. 普通 (7名)
c. 勉強にならなかった (0名)	
d. 全く勉強にならなかった (0名)	

B. 感想があれば一言。

- ・ とても心に残る講義だった。日常業務に役立てたいと思う
- ・ 本当にいい講演だった
- ・ とても勉強になった。現場で活かしたい
- ・ 具体的な説明で分かりやすかった
- ・ 話し方がとても分かりやすかった
- ・ 日々の業務にも関わっているので勉強になった
- ・ とても勉強になった。初めて知ることも多くあった
- ・ この職について間もないので、全てが勉強になった
- ・ 参加できて良かった(2) ありがとうございます
- ・ 先生の声・話し方が穏やかで話がよく入ってきた。人と接する時、自分も穏やかでありたいと思った
- ・ 絵を使い分かりやすく、改めて考えることができた
- ・ 実際の現場を絵にし、事例風にしていた所が分かりやすかった
- ・ 会場と一体化し、分かりやすい説明でとても良かった
- ・ すごくパワフルでフットワーク軽く、いつマイクが来るかドキドキしながらしっかり受講することができた
- ・ 介護は専門の資格だけでなく、人としてだと改めて思った。笑顔で穏やかな人になれるようにしていきたいと思う
- ・ 明日からの仕事に役立つお話を分かりやすく教えていただきありがとうございました
- ・ 今後役に立つと思う
- ・ 今後の看護・日々の業務に役立てたい(3)
- ・ 明日からの仕事に生かしたい・生かせそう(3)
- ・ 改めて認知症について学ぶことができた
- ・ もっと認知症患者さんの事例を聞きたかった
- ・ 改めて認知症について勉強し直そうと思った。ありがとうございます
- ・ 今は認知症の方との関わりはないが、もう一度施設へ行き認知症の勉強・就職したいと心から思った
- ・ 無資格で看護助手について10か月だが、もっと細かいことや対応を知りたいと思った
- ・ なるほど、と思えることが多かった
- ・ とても分かりやすかった
- ・ 説明が分かりやすく勉強になった(2)
- ・ 楽しく思えた
- ・ 改めて勉強になった
- ・ 今後の仕事に役立って良かった
- ・ 仕事にも家族にも生かしていきたい
- ・ 認知症についてもっと勉強したいと思った
- ・ もう少し長く聞きたかった
- ・ 知識を習得できて良かった

- ・ 日常当たり前にしていたことで、いけないということに気づかされた
- ・ 当たり前と思っていたことが違っていたことにびっくりし、考えさせられた
- ・ 業務に追われ流れ作業になっていたので、初心に戻ることができた
- ・ 普段気づかないことに気づかされたり、再確認させられた
- ・ 分かりやすく、再度確認できた。意識を持って仕事を頑張りたい
- ・ とても分かりやすかった。自分でも気づかないところに気づけて、今後実行していきたいと思う
- ・ とても分かりやすく、気をつけたらよいことを再確認・知ることができた
- ・ 自分が日々している業務の中で忘れていたこともあり、振り返りができた
- ・ 実際の現場での話を聞き、「あ〜こんな経験ある」と共感し、こうすれば良かったんだと気づきを与えられたので勉強になった
- ・ 事例を交えてのお話を聞き考えさせられた。自分が今後どういった対応で患者さんと接していくか、表情や言葉、ニュアンス一つで変わることもある
- ・ 自分の仕事に悪い意味で慣れが出てきているとハッとさせられた。初心に戻り相手に寄り添うケアを心掛けようと思った
- ・ 技能だけでなく根本（考え方）から教えていただけたのでとても刺激をもらった
- ・ 自分の考えによって認知症の人の行動を決めつけていた。今日は勉強になった
- ・ 認知症と決めつけはダメだと反省した
- ・ 今まで認知症だと一括りにしていた
- ・ 実践したい。反省すべきところもあり直したい
- ・ 明日から実行しようと思った
- ・ 新しい発見があり、明日の仕事から実践していきたいと思った
- ・ 明日からできることがたくさんあり、実行が必要だと感じた
- ・ 今日の講義を胸に、今一度自分の仕事を見直したい
- ・ 認知症のことで知らなかったことが分かり、業務に生かしたい
- ・ 体験したり、みんなで意見を交わすことで認知症を知ることができた
- ・ 認知症高齢者の居場所をいかに作るか、簡単なようで難しいと思うが学んだことを活かしていきたい
- ・ 看護を始めたばかりなので、聞いて良かった
- ・ この職についてまだ5か月で認知の方と接することがないが、話を聞いたので認知の方、それ以外の方との接し方に役立てたいと思う
- ・ 認知症について、ちゃんとした話を初めて聞いたのでよく分かった。職場である事例ばかりで明日から実践してみようと思った
- ・ 認知症の方の介護をしているので勉強になった
- ・ 心に寄り添う介護を改めて勉強できた
- ・ 改めて患者さんに寄り添えるようになりたいと思った(2)
- ・ 研修で学んだことを実践し、寄り添うコツを生かせるような看護・支援をしたい
- ・ 今の自分にできることは、安心していただける・笑顔になっていただけるよう援助する、寄り添う声掛けと笑顔で接することをもっともっと実践する
- ・ 難しく考えないで寄り添うことが大切。急ぐより、ゆとりある声掛け・行動が大切だった
- ・ 実際の現場では患者一人に時間を取ってあげられないことが多いので、どう時間を作っていくか改めて考えなくてはならないと思った
- ・ 認知症と BPSD を一緒に考えていた。そこが分かって良かった。心のケアが大事だと思った
- ・ 認知症の方への知識が深まった。仕事でも実践していきたい
- ・ 日々の患者さんの気持ちを再考するきっかけができた
- ・ 認知症の患者様の気持ちが理解できた

- ・ 認知症の方の気持ちが分かったので、気持ちに寄り添いながら仕事をしたい
- ・ 患者さんにとって自分も環境の一因となっていることを自覚すべきと思った
- ・ 自分達の言動・表情が相手にどう伝わっているか、とても繊細だということが理解できた
- ・ 自分の気持ちや態度一つで相手への伝わり方が変わる!!
- ・ 自分のやり方を見直し、相手の立場で見られるようにしていく
- ・ 自分がどのようなケアをしてほしいか、自分だったらどうだろうと改めて考える機会になった
- ・ もう一度認知症患者との向き合い方を考えなおしたいと思った
- ・ ケアの選択肢を増やし、関わり方や環境を改善していくことの大切さを学べた
- ・ 接し方により変わるの理解しているが、実際はできていないこともある。表情に気をつけたい
- ・ 認知症の方への関わり方は上手いかわからないことも多いが、優しく笑顔で対応し患者さんのストレスを少しでも減らしていきたい
- ・ 認知症患者さんを見る意識が変わった
- ・ 接し方の大切さがよく分かった
- ・ 認知症を持つ患者さんへの声掛け・関わり方を見直そうと思った(3)
- ・ 認知症の方に対する対応の仕方が、勉強になった・為になった(3)
- ・ 認知症の方への関わり方など、初心に戻り振り返ることができた
- ・ 改めて認知症の方への関わり方などが聞けて良かった
- ・ 認知症の方との接し方を改めて知ることができた。初心に戻り寄り添っていきたい
- ・ 日頃の業務の中で、実際によくある認知症患者との接し方のコツについてヒントをいただいた
- ・ 認知症患者様に対する接し方が分かりやすくて良かった。今後、生かしていきたいと思った
- ・ 接し方を見直す良い機会となり、自分の考えを改めようと思った
- ・ 普段の接し方をもっと気をつけようと思った
- ・ 認知症の人に対する声掛けの仕方を気をつけようと思った。行動するのも、こちらのペースではなく患者のペースに合わせる必要があると思った
- ・ 危険なときでも相手の視覚に入って声を掛ける
- ・ 視野等、身近に考えることができた
- ・ 患者さんの目線・行動を考えて、行動したいと思う
- ・ 視野を自分で体感して、理解しやすかった
- ・ 患者さんの視界に入り、聞き取りやすい音声で声を掛け、気持ちの分かる声掛けをする
- ・ これからも患者様への声掛けをしっかりとしていこうと思う(前方から)
- ・ 話しかけるときは、まず相手の視界に遠くから入る!!
- ・ 患者さんには前から話しかけ、低い声で優しく話すことが大切だということが改めてよく分かった。皆さん、よく自分達のことを見ていることも忘れずに接したい
- ・ 自分は患者様の後ろから声を掛けてしまうので気をつけたいと思った
- ・ どこから声を掛けるかという体験をやってみて、自分は横に立って声を掛けたり、後ろから声を掛けたりしていると反省した。明日からすぐに取り入れることができ嬉しい
- ・ 頭では分かっているつもりでも、後ろから声を掛けたり無表情になったりしている自分を反省する。聞いたことを生かしていきたい
- ・ 分かっている大きな声を出したりすることもある。これからは一呼吸置いて、次に何をすべきか考えてできるようになればと思う
- ・ 認知症患者さんの少し遠くから視界に入ることがびっくりさせない、ということを知らなかった
- ・ 認知症の方とどのように接すればよいか、また相手に不快な思いをさせないやり方を学べて良かった
- ・ しっかり患者様を観察して介護したいと思った
- ・ 否定をせず、腕を掴まないようにしたい
- ・ 普段何気なくしていることで患者さんを不安にさせていたことが分かり、とても勉強になった

- ・ 普段何気なくしている行動も、患者さんにとっては怖いと感じるポイントがいくつもあると知り、勉強になった
- ・ 認知症の方は自分の鏡、という言葉にハッとしてしまった
- ・ 「認知症を持つ人は自分の鏡である」が印象に残った
- ・ 「認知症の方々は自分達の鏡」という言葉は、これから気をつけないといけないと思った。今後どのように接していくかちゃんと考えて行動していきたい
- ・ 祖父が活着しているときにこの講演を聞いて接してあげたかったと思った
- ・ 既に他界しているが、両親ともアルツハイマー型になり、もっと早くに勉強していたら接し方に悔いが残らなかったのに・・・と思った
- ・ 姑が初期の認知症になり、それも入院がきっかけだった。リンクする部分があった
- ・ 分かりやすかったが現実と理想のギャップが・・・難しい。スタッフ全員が同じ考え方でないと上手い環境作りはできないよな～と思う
- ・ 暴言・暴力のある人、食事拒否する人の対応はどうしたらよいか？質問したかった・・・

2. 研修『介護者にも対象者にも負担のかからないノーリフティングケア

～抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケア～』を聞いて。

(講師：ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子 氏)

A.

a. 大変勉強になった (157名)	a. 大変分かりやすかった (119名) b. 分かりやすかった (19名) c. 少し難しかった (10名) d. とても難しかった (1名) e. 普通 (4名) 未記入 (4名)
b. 勉強になった (38名)	a. 大変分かりやすかった (2名) b. 分かりやすかった (20名) c. 少し難しかった (10名) e. 普通 (4名) 未記入 (2名)
c. 勉強にならなかった (2名)	b. 分かりやすかった (1名) e. 普通 (1名)
d. 全く勉強にならなかった (0名)	
未記入 (1名)	a. 少し難しかった (1名)

B. 感想があれば一言。

- ・ とても分かりやすい説明だった
- ・ 意識して取り組みたい
- ・ 時間がない、人が足りないと言い訳ばかりを反省
- ・ みんなが何を覚えておかなければいけないかを知ることができた
- ・ 介護の仕方も変わりつつあると思った。今後の介護に役立てていければよいと思う
- ・ 大変勉強になった。車イス移動、寝返りなどシートやボードを使って簡単にできるのでやってみたい
- ・ 介護の技術は日々変化し続けていると思った
- ・ 常に新しい情報に敏感でいようと思った。大変勉強になった
- ・ 移乗介助も日々発展・進化していることを実感することができた
- ・ 無資格なので、大変勉強になった
- ・ もっと勉強したいと思った
- ・ 仕事に生かしたいと思った
- ・ 世の中は進化していると思った

- ・ 今まで教えてもらったやり方が一から崩れてビックリだったが、腰痛予防の為のやり方がこんなに楽だとは思わなかった
- ・ 昔勉強して習ったことと違う事もありびっくりした。新しいやり方にとっても感動した
- ・ ホームヘルパーの研修を5~6年前に受講したが、その時と今とは全てが違う状況であると思った
- ・ 院長・副院長に先生のお話をぜひ聞いてほしい。職員を守るためにも、患者さんのためにも
- ・ 病院内の役職の人にも参加してもらい、取り入れてもらいたい
- ・ 利用したいケア用具がたくさんあったが、一番に上層部の方に知ってもらいたいと思った
- ・ 道具が大変良いことは実感できたが、現場で補助職の立場は弱く道具の購入はまずムリ。こういった研修に上の人に来てほしい
- ・ 自分達よりもっと上の人聞いたらいいと思った。買う・買わないの話だから
- ・ 間違った方法が介助者にも負担になり、対象者の全身状態の悪化を招いていることを知り驚いた。病院全体で改善すべきと強く感じた
- ・ 組織での統一。情報を入れて知識を変え、行動にすることが大切だということが理解できた
- ・ まずは意識の改革。簡単なことではないが、できたらいいと思う。高知県の取り組みを知り、決して不可能ではないと思った
- ・ 仕事で使えるようなコツを教えていただけてありがたい。ただ病院が職員の腰痛を本気で考えてくれるかは不明だが・・・
- ・ 意識の改革について勉強になった
- ・ 腰痛対策チームの必要性をとっても感じた
- ・ とっても勉強になった。今までのやり方を直していく
- ・ 古いケア方法をしていたので、勉強になった
- ・ 一昨年受けた研修と同じで再確認できた
- ・ 以前下元先生の研修を受けたことがあり、見直す機会になった
- ・ これまで自分が間違ったケアをしていたことに気づけた
- ・ 今まで間違った介護をしていたと反省し、明日からでも学んだことを実践していきたいと思う
- ・ やってはいけないことを今までやっていた。ベッドから車イスに移乗したりイスに座っての姿勢を整えることでも腰に負担をかけるやり方をしていたので、今回勉強したことを活かしたいと思う
- ・ 無意識に抱えたり引きずったりしているので、対象者にも自分にも負担が少なくて済むようにするにはどうすればよいか、大変勉強になった
- ・ 自分達が毎日正しいと思っていたことが全然違った。明日から仕事で使えると思うと嬉しい
- ・ 情報・知識が全く違っていた。やってはいけないことばかりだった。まずは腰痛にならないように体を動かすこと、患者さんを引きずらないことをする。意識付けて介護していく
- ・ 今やっているケアは間違っていることばかりで、目からウロコの実習だった
- ・ 青天の霹靂、目からウロコ。腰痛は自分にとっても悩み、自分の意識を変えないと、と思った
- ・ 自分の今までの考え方を変えていく必要性を感じた
- ・ 自分にできていないことがよく分かった。シートがほしい
- ・ 今までは腰に負担をかける介助をしていたので、勉強になった
- ・ 自分達がいかに無駄な動きをしていたのかを感じた
- ・ ポジショニングがまだまだで上手いかないことが多いので、かなり参考になった
- ・ 人手不足のため一人で介助しないといけない状態で、方法などとても良いことが学べた
- ・ 実践があり、できて良かった・分かりやすかった・もう一度確認することができた(5)
- ・ 実際にポジショニングを行えたので分かりやすかった。やってはいけない事を知ることができて良かった

- ・ 専門用語が出てきて難しい話もあったが、実践はとても分かりやすく自分でもできそうだった
- ・ 介助のやり方が、見ているときは簡単に見えるが、やってみると難しかった(2)
- ・ 頭では理解できていても実際に移動させるのは難しかった。持ち上げない！抱え上げない！引きずらない！を意識して自分の身を守りながら勤務したい
- ・ 実技を習得すれば腰への負担は軽減されることが分かったが、習得するのが難しそうだった
- ・ 明日からの仕事に生かせそう。ありがとうございました
- ・ 今まで知らなかった介助方法や、自分の身体に負担をかけずに行うケアの方法を知ることができたので良かった
- ・ 今まで腰に負担がかかるような移乗・移動をしていたが、負担がかからない方法を勉強できたので良かった
- ・ 今までやっていた移動方法が間違っていた方法であると分かった。とても勉強になり今後の業務に生かせるよう技術をマスターしたい。グローブ、ロールボードをもっと活用していきたい
- ・ 道具がなくても使える技術と、なぜノーリフトが必要かの大事な考え方を学べた
- ・ 腰痛を起こさない方法で患者さんに対応する ・ 負担のない体転のやり方が分かり良かった
- ・ 少しでもお互いの負担を減らせるよう・気を配って仕事をする(2)
- ・ 介護する側の健康を守る(負担をかけない)やり方を考えながら仕事をするのが大切だと思った
- ・ 自分・患者様に負担が掛からない、良い勉強になった。また、新しい介護用品など見せてもらえてとても良かった
- ・ いろいろな福祉用具を使用して、介護者にも患者様にも負担を掛けない方法がある
- ・ 移動することが、自分の身体にも関わるということがよく分かった
- ・ 介護側にとっても楽な介護をと考えていて、ありがたい気持ち
- ・ 職員・患者様により良いケアを勉強できて良かった
- ・ 力を入れず双方に負担がかからずに移動できるのは素晴らしいことだと思った。補助者だけでなくNsの国家試験の時にも学んでほしいと思った。医療に関わる全ての人が知っていて得なことを学べた
- ・ 介護者・対象者お互いのためにノーリフティングケアを取り入れるべきだと思った
- ・ ノーリフティングケアの理解・情報を現場で話していきたいと思った。ありがとうございました
- ・ まずは管理者に「ノーリフティングケア」の必要性を訴えたい
- ・ 自院にはリフトはないが、あれば介護者だけでなく患者さんも安楽・安心できると思った。高知の施設では職員全員がグローブを持っていると聞きすごいと思った。現場でできる事は何か考えてノーリフティングケアを取り入れたい
- ・ ノーリフティングケアの必要性。導入することで腰痛予防に繋がり、介護者・対象者に負担がかからず有利
- ・ ノーリフティングケアという言葉がよく分かった
- ・ ノーリフティングケアについて自院でも講演していただきたい
- ・ ノーリフティングについて勉強することができて、とても良かった
- ・ ノーリフティングを初めて聞いた。同僚にも伝えたい・勉強になった(2)
- ・ 「ノーリフティングケア」は初めて聞く言葉でとても勉強になった。自院でも取り入れの検討をしてもらいたいと思う
- ・ ノーリフティングという言葉を知った。講義を受ける前、抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケアと聞いたとき“ムリじゃないか”と思った。腰痛予防のためだけでなく患者さんの為であるということが分かり良かった

- ・「ノーリフティング」という言葉を初めて聞き、機械も初めて見た。利用者の自立にも繋がるというのはとても魅力を感じた。また介護側の負担も減り患者さんとの時間も増えそうな気がした
- ・「ノーリフティングケア」についてももう少しだけ詳しく知りたかった
- ・ノーリフト、使用できる時とできない時があると感じた
- ・患者の病態とスタッフとのボディメカニクスをもっと習得したいと感じた
- ・ボディメカニクスを知って活用できると、患者さんも介護者も楽になれることが分かり良かった
- ・今までのボディメカニクスを使い介護をしていたが、腰痛は予防できなかった。今回の実技は生かしてやろうと思う
 - ・ 研修した体重移動を実践していく
- ・姿勢管理の重要性を学んだ
 - ・ 体重移動の大切さを感じた
- ・身体的位置・角度を考え、移動・立ち上がりをしていきたいと思う
- ・体重移動を改めて理解できたので実践してみようと思う。帰って再びしっかり資料を読んで勉強したい
- ・体重の動かしも、体幹など少しのことで自分達にも患者さんにも不快な思いがなくなるので、知れて良かった
- ・ちょっとしたコツを習得したいと思った
 - ・ 実践できることは職場で行っていききたい
- ・さっそくスタッフ・現場に伝えたい(2)
 - ・ 用具を使うことでどう変わるかがよく分かった
- ・小さなことから始めていきたい。一人ではできないので、できれば皆が一緒にできるように伝えていけたらと思う
- ・専門職としてドキドキしっぱなしだった。ケア一つでこんなに変わるんだとビックリした。技能以前にその背面（必要性）をきちんと理解し、スタッフで共通認識を持って働くことが大切だと痛感した。伝えていこうと思う
- ・時間にゆとりを!! 持ち上げ・引きずりをなくす!!
- ・引きずらないケアに気をつけて、グローブ等を使っていきたいと思う
- ・用具を購入するとまでは難しいが、より良いポジショニングから実践していきたい
- ・管理者に聴いてもらい、リフトやスライディングシート、グローブなどの導入を検討してほしいと思った
- ・スライディングシートが欲しい!! 現場にスライディングボードはあるが、重たいという声もあるので
- ・トランスファーシートに感動した。必ず導入してもらいたいと思った。そして患者さんの負担をなくすためにも職員に広めていきたい
- ・グローブ、トランスボード・シートなど病院が理解し、用意してくれたら本当に助かると思った
- ・腰への負担がこんなにも軽減する（利用者と介護者両方が）グローブを個人でも持っていききたい
- ・自院には高さも上がらないベッドがあり、いかに腰に負担がかかっているかよく分かった。ぜひグローブ、シート1つでもいいのでほしいと思った
- ・グローブがとてもいい♡ 自院にもほしい
 - ・ 紹介された介助用具を導入してほしいと思った
- ・うちの病院にもあの機械がほしい
 - ・ 便利な道具があるので使いたい
- ・ぜひ自院に取り入れてほしい・使いたいと思った(2)
 - ・ 職場での導入をしていきたい
- ・車イス移乗のボード導入を進めたい。がつつり持ち上げているので
- ・病院にない用具がたくさんあり、とても興味深かった
- ・様々な福祉用具があり、大変勉強になった
- ・様々な福祉用具があることを知り、もっと情報を得ていかなければと思う
- ・ディスポグローブを導入したことがあるが、結局良い結果が出ず廃止になった。使い方が大切と思った
- ・便利な道具がたくさん開発されていることに驚いた。自分達の取り組み方次第で介護は「しんどい職業」でなくなるのでは?と思った

- ・福祉用具があればかなり楽に仕事ができそうだった。ベッドから抱えてズボンを持って無理矢理移乗は毎日。看護師さんも間違いだらけです
- ・現場で使える道具を近くで見せていただけてありがたかった
- ・全く見たことのない機械や介助方法があり、本当に驚いた
- ・移動をサポートする道具があることを知り、為になった
- ・全ての機械にしても布にしても、腰や時間の負担・減少に繋がるすばらしい物だと思えた。しかし、自分の職場には何一つなく取り入れるのには時間がかかりそう。帰ってしっかり伝えていきたい
- ・病棟には福祉機器がなく、あまり身近に感じることができなかった。もう少し病院全体で関わらないと、と思った
- ・自分が働いているところは時代が止まっている気がする
- ・ボードもリフトもない自院はすごく遅れていると思った。入職当時(20年前)から何も変わっていない
- ・紹介された道具を購入してもらえない病院はどうしたらよいのだろうか
- ・講演を聞いて、これをどのように報告したらよいか？ アシスタントでは難しいので、管理者や上司の人達にも参加してもらえればよいと思った
- ・事業所・管理者の方の考えを変えるのは大変。県北では良いベッド等は揃えることが困難(経営的)。上下できない手動ベッドが主である
- ・なかなか難しいと思った。たびたび勉強しないとできないなと思った
- ・参加人数の関係で難しいとは思いますが、実際にリフトやシートを触って良さを感じてみたかった
- ・自分達看護助手が聞いても・・・と思わされた
- ・実際にやってみたかった
- ・自分の勉強不足で理解できなかったところが残念
- ・初心者用の話を聞いてみたいと思った
- ・機械やシート、身体の動かし方が難しかった
- ・人数が多く、細かい所が見えなかった

3. 今後勉強したいこと、聞きたいこと等、希望する研修内容があればご記入ください。

- ・ もっと下元先生の研修を受けたい
- ・ 病院の上司にこの研修を受けてほしい
- ・ ぜひ自院でも講演してほしい
- ・ 今日のようなケアのやり方をもっと
- ・ ノーリフトの実技をもっと詳しく勉強したい
- ・ ポジショニングの研修(3)
- ・ ノーリフティングケアをまた(もっと)学びたい(3)
- ・ ノーリフティングケアを勉強して移乗介助の技術を高めたい
- ・ 今回のような講習を何度でも受けてみたい。リフトなど触ったことがないので実践できたら良かったと思う
- ・ ボディメカニクスを基にした実技(2)
- ・ ボディメカニクスをもう一度勉強したい
- ・ 移乗や体転は毎日のことなので、もう少し勉強したい
- ・ 介護者や補助者にも負担軽減になる講習は知りたい
- ・ 腰痛で困っている。腰が痛くなりにくい介護方法などがあれば是非お願いしたい
- ・ 介護用のロボット等の物品の講習があれば聞きたい
- ・ 拘縮のひどい方、モニターやチューブを付けている方の介助
- ・ 道具を使わない介助の勉強をしたい
- ・ 認知症を持つ人の生活介助や気持ちを伝える方法
- ・ 認知症の家族への対応ポイント
- ・ 認知症以外にも精神的なケアの必要な人の対応など
- ・ 排便コントロールについて(2) 自分たち介助者でも行えること、体操など
- ・ 介護予防(3)
- ・ 食事、排泄
- ・ 食事介助(5)
- ・ 食と口腔ケア
- ・ 入浴介助(いろいろなパターン)
- ・ 移動、介助方法

- ・ 転倒・転落防止
- ・ 徘徊対策
- ・ 誤嚥性肺炎について
- ・ 褥瘡の勉強（なる原因・治る方法）
- ・ 障害について
- ・ マヒ患者の対応
- ・ 難病の方への対応
- ・ がんの末期、病気の種類による関わり方
- ・ 患者さんの不穏時対応、モンスター家族の対応
- ・ 退院できる患者さんにどうしたら退院してもらえるか
- ・ おしめの当て方
- ・ 感染について(2)
- ・ 感染“自分を守る”
- ・ 接遇について
- ・ アンガーマネジメント
- ・ コーチング
- ・ チーム医療での看護補助者の業務について
- ・ 看護補助者でも分かりやすい看護の勉強会があったらよいと思う
- ・ 介護士でも分かりやすい身体症状の見方
- ・ 介護制度の見直しに当たって注意する点など学びたい
- ・ 他病院・施設などの仕事の取り組み方
- ・ 介護福祉士を持っているが更に知識を増やしていきたい
- ・ 認知症サポーターになりたい
- ・ 現場で役に立つ・生かせる研修が嬉しい

4. 今回の研究会に参加した動機はどれですか？

- a. 病院から「行きなさい」と言われて (120) 名
- ・ 何の前触れもなく勝手に決められていた。しかも数日前に
 - ・ 事前に連絡もなく研修が組まれていた
- b. 自分から積極的に出席した (64) 名
- c. その他 (9) 名 未記入 (5) 名
- ・ 病院から「研修があるがどうか」と誘われた
 - ・ 研修行ってみる?と誘われた
 - ・ 病院から「行ってみない?」と言われたが、とても興味のある内容だったので
 - ・ 勉強会(研修会)があるんだけど参加できる?と言われたから
 - ・ 病棟の師長からこの研究会を紹介されて
 - ・ よければ参加してくださいと言われて
 - ・ 勉強になると思い参加した
 - ・ 研究会のある事を知り、勉強したいとお願いした

【年 齢】	【勤務年数】	【職 名】
～19歳 (3)	～6ヵ月未満 (10)	看護補助者 (120)
20～29歳 (27)	6ヵ月～1年未満 (2)	介護福祉士 (72)
30～39歳 (42)	1年～5年未満 (60)	ヘルパー (3)
40～49歳 (63)	5年～10年未満 (53)	介護士 (1)
50～59歳 (48)	10年～15年未満 (24)	看護師 (2)
60歳以上 (7)	15年～20年未満 (25)	
未記入 (8)	20年～25年未満 (13)	
	25年～30年未満 (3)	
	30年以上 (1)	
	未記入 (7)	

【施 設】	病 院 (192)	その他施設 (2)	未記入 (4)
		・療養所 (1)	
		・クリニック(1)	